



1. 診療で使うガーゼをたたむお手伝い。(国保診療所)
2. 納豆のラベル貼り。一つずつ丁寧に貼り付けていきます。(手・まめ・館)
3. 部品を一つ一つ外して、車の構造を学びました。(宗田自動車整備工場)



4. 編み込みのやり方を教えてもらいました。(まどか美容室)
5. 図工の時間。一緒に考えたり手伝ったりしました。(鯉川小学校)
6. 放水訓練を体験。水の勢いが強くて驚きました。(榎倉消防署鯉川分署)
7. 運動会の練習。お父さん・お母さん役をしました。(こどもセンター)
8. 広報紙づくりを体験。役場の仕事についてインタビューしました。(村役場)



# 夢と向き合う

【特別企画】中学生の職場体験



九月十日・十一日の二日間、鯉川中学校二年生の総合的な学習の一貫として「職場体験学習」が行われました。社会で働く人たちのふれあいを通して礼儀などを身につけたほか、職業に対する理解を深め、自分自身の進路や夢と向き合い、考える機会となりました。

生徒三十四人が村内の事業所など八カ所に分かれ、それぞれの職場で学校の授業では得られない貴重な経験をしました。

役場には、三人の生徒が訪れました。今回、広報紙づくりを体験しながら役場の仕事について取材をし、記事にまとめてもらいました。中学生の目から見た「役場」とは…。

(4・5ページへ続く)



こどもセンター  
土手内菜奈さん

運動会の練習や子どもたちの補助を手伝いました。実際にお世話をするのは大変でしたが、子どもたちがはしゃいでいるところなどを見るとかわいかったです。仕事って大変だと感じました。



手・まめ・館  
湯座雅貴さん

主に商品の袋詰め作業などをしました。職員の人にアドバイスをもらいながら、集中して取り組めたのでよかったです。職場体験を通して、商品を作る大変さを知りました。



まどか美容室  
藤田恭佳さん

編み込みみやパーマの巻き方などを教えてもらいました。難しかったですが、丁寧に教えてもらえたので楽しくできました。今回の職場体験で、将来つきたい職業が少しイメージできました。



鯉川小学校  
圓井恭輔さん

鯉川小学校では、丸つけや日記のコメント書きなどをしました。僕が小学生だったときは気づきませんでしたが、先生の仕事は思っていたよりも多くて、忙しいことに驚きました。

職場体験を振り返って…



武藤貴仁 (写真左)  
初め役場に来たとき、とても緊張していました。そして、インタビューをすると聞いて「うまくできるかな」と不安でいっぱいになりました。不安を抱えたままインタビューをするとどこかぎこちなく、そんなインタビューで終わってしまったことがとても残念です。でも、なかなかできない貴重な体験なのでやってみて良かったです。2日間、本当にありがとうございました。

諸橋友太 (写真中央)  
取材や写真撮影などをやらせてもらって、思っていたよりも難しかったです。取材の質問など考えるのも難しく、話の内容もよくわからなかったので記事にするのがすごく大変でした。でも、写真を撮ったりして、この2日間本当に楽しかったです。いろいろと役場のことを知れたり、役場の人たちに優しくしていただいたり良い思い出になりました。この2日間の貴重な体験を将来に生かしていきたいと思います。この2日間、お世話になりました。本当にありがとうございました。

芳賀都加沙 (写真右)  
職場体験で役場にきて楽しかったことは、パソコンをカタカタすることです。疲れるけど、大人な感じがして楽しかったです。難しかったことは、取材です。緊張して何を言うのか忘れてしまいました。そして、役場の皆さん、取材を受けてくれた皆さん、多忙なスケジュールの中、ありがとうございました。

教育課は幅広い世代の人たちの応援をしています。例えば、来年入学する小学1年生の健康診断や学校説明会などを開いたり、図書館で新しい本を購入したりと、いろいろところで私たちを助けてくれています。



ほかにもスクールバスの運行などで応援してくれています。こどもセンターや鮫川小学校、鮫川中学校のバスの運行など、鮫川村民にとってなくてはならない大事なものの管理をしています。

社会学級などもそうです。社会学級とは、いわばお年寄りの学校です。大切なことを教えてくれるすてきな学校です。

そして驚いたことに、教育長さんが私たち中学生に取材させてくれました。教育長さんは笑顔でこうおっしゃっていました。「仕事は早め早めに」と。その言葉を胸に、宿題は早め早めにしようと思いました。

text / 芳賀都加沙 photo / 武藤貴仁

## 教育課

## 企画調整課

企画調整課には、企画振興係、商工観光係、国土調査係の3つの係があります。

企画振興係は、村の長期計画や総合整備計画など、村づくりについて考える仕事をしています。また、今回の職場体験で作った広報紙もここで作られています。

商工観光係は、商工業関係や観光の仕事をしています。そのほかに、都会から来た大学生などに農業を体験してもらったりして、都会の人たちと交流しています。うまいもの祭りを開く手伝いなどもしています。

国土調査係は、土地の境界を決める仕事をしています。

企画調整課は、鮫川村全体の将来のことを考えて、「どのような村づくりをしていくか」ということについて、ほかの課や村民の人たちの意見をまとめる所なんだと思いました。



text / 諸橋友太 photo / 芳賀都加沙

## 地域整備課

地域整備課では8人が働いていて、2つの係があります。

1つ目の係は、建設係です。道路や住宅を作ったり直したりして鮫川村を整備する係です。狭い道路を広くしたり、住宅を作ったりするのが主な仕事です。また、道路は国道・県道は県が管理し、村道・林道・農道は村が管理しています。



2つ目の係は、環境係です。水道・下水道の点検や管理、浄化槽関係、ゴミ、犬の登録・注射が主な仕事です。

この2つの係で特に大切なのが、村民の方々の生活に関わる道路や住宅を整備すること、安全な水を安定的に配ること、下水道、ゴミの管理だそうです。

この仕事をしていてやりがいを感じることは、自分たちが苦勞して作ったものがずっと残り、それをいつも見られるということです。

text / 武藤貴仁 photo / 諸橋友太

## 農林課

農林課は簡単に説明すると、農業関係を管理する仕事です。

最近の課題は後継者不足など、そのほかにもいろいろあるそうです。課長さんは、「今の若い人たちが大人になって、また鮫川に戻ってきてくれば…なんて」と笑いながら話していました。そのほかにも、最近はお米や野菜などの消費が伸び悩んでいるそうで、農家さんの経営が難しくなっているそうです。



今、特に力を入れているのは、除染問題です。最近では、牛に与える牧草の基準値が100ベクレルになって、それを超えるとエサとして与えられなくなりそうです。そうなるとうちの経営が危なくなってしまうので、鮫川村ではアメリカから乾草を輸入して、家畜農家さんに配布しているそうです。

このように、いろいろな農業の課題を解決していくのが、具体的な農林課の仕事です。

text / 芳賀都加沙 photo / 武藤貴仁

## 住民福祉課



住民福祉課には、住民係、福祉係、健康係の3つの係があります。

住民係は、戸籍や農家などの国民健康保険証を扱っています。

福祉係は、高齢者や障害をもっている人たちがさまざまな福祉サービスを受けられるように手続きをしています。

健康係は、健診や保健指導などを行っています。今の鮫川村の平均寿命は、男性が78歳、女性が86歳で、女性の方が長生きしています。また、福島県内でも鮫川村は長生きしている人が多いということを知って驚きました。

住民福祉課は、住民の人たちが生まれてから亡くなるまでの健康や福祉などをサポートする仕事をしています。なので、住民の人たちと接する機会が多く、住民の人たちに合わせて対応することが大事だと話していました。

text / 諸橋友太 photo / 芳賀都加沙

## 総務課

総務課では13人が働いていて、3つの係があります。

1つ目の係は、総務係です。仕事は主に3つあります。1つ目は、役場の建物・職員の管理です。2つ目は、災害などから人の命を守る仕事で、主に防災無線の管理などを行っています。3つ目は、選挙のお手伝いです。

2つ目の係は、財政係です。予算の使い方をコントロールする係です。鮫川村では、1年間で約56億円ものお金が動いています。

3つ目の係は、税務係です。村税の賦課と徴収の仕事をしています。

この仕事をしていて1番難しいことは、住民にけがなどをさせずに災害などから守ることだそうです。鮫川村は、山が多いので土砂災害が多く、大雨のときが特に大変です。皆さんも雨のときは、山や川には近づかないでください。



text / 武藤貴仁 photo / 諸橋友太

# 役場の真実

村民必見!!

役場で職場体験をした中学生が取材

### INTERVIEWER



Takahito Muto



Yuta Morohashi



Tsukasa Haga